

令和元年度

日向東白杵広域連合
歳入歳出決算審査意見書

日向東白杵広域連合監査委員

発日東広監第20号
令和2年11月5日

日向東臼杵広域連合
広域連合長 十屋 幸平 様

日向東臼杵広域連合
監査委員 成合 学
監査委員 那須 富重

令和元年度日向東臼杵広域連合歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第292条の規定により準用する同法第233条第2項の規定に基づき、審査に付された令和元年度歳入歳出決算書、決算附属書類及び証書類を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

目 次

	頁
第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
第5 決算の概要	1
1 歳 入	2
第1款 分担金及び負担金	2
第2款 使用料及び手数料	3
第3款 国庫支出金	3
第4款 県支出金	4
第5款 財産収入	4
第6款 寄附金	4
第7款 繰入金	4
第8款 繰越金	5
第9款 諸収入	5
第10款 組合債	5
2 歳 出	6
第1款 議会費	6
第2款 総務費	7
第3款 衛生費	7
第4款 公債費	8
第5款 予備費	9
第6 実質収支に関する調書	9
第7 財産に関する調書	9
1 公有財産	9
2 物 品	9
3 基 金	9
むすび	10
決算審査資料	11

凡 例

- 1 文中及び表中の円単位以外で表示した金額及び各比率は、表示単位未満で四捨五入している。また、合計と内訳を一致させるため調整を行っている。
- 2 「ポイント」は、前年度の%との比較である。
- 3 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。

「 0.0 」	……………	該当数値はあるが、単位未満のもの
「 △ 」	……………	マイナス
「 — 」	……………	該当数値のないもの
「 皆増 」	……………	前年度に該当数値がなく、全額増加したもの
「 皆減 」	……………	当年度に該当数値がなく、全額減少したもの

令和元年度 日向東臼杵広域連合歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和元年度日向東臼杵広域連合歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和2年9月1日から10月21日まで

第3 審査の方法

- 1 審査に当たっては、審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類が地方自治法等の関係法令の規定に基づいて作成されているか、計数は正確で適正に処理されているかについて確認するとともに、予算は法令等に基づいて適切に執行されているかなど、予算の執行状況とその事務処理の適否等について審査した。
- 2 審査は、関係諸帳簿と証拠書類等との照合のほか、関係職員から説明を聴取するなどして実施し、主な建設工事等については実地に現場を確認するなどして実施した。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数においても正確で、令和元年度における歳入歳出予算の執行状況は、おおむね適正であると認められた。

第5 決算の概要

当年度の決算額は、

歳	入	603,863,530 円
歳	出	590,545,364 円
歳入歳出差引	残額	13,318,166 円
翌年度へ繰り越すべき	財源	0 円
実質	収支額	13,318,166 円

であり、前年度に比べ歳入は 20,198,434 円 (3.5%)、歳出は 20,241,058 円 (3.5%) それぞれ増加している。

1 歳 入

歳入の決算額は、

予 算 現 額	605,000,000 円
調 定 額	603,863,530 円
収 入 済 額	603,863,530 円
収 入 未 済 額	0 円

となっている。

収入済額の予算現額に対する比率は 99.8%で、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を款別にみると、次のとおりである。

表1

(単位：円・%)

款 別	令和元年度		平成30年度		比 較 増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
分担金及び負担金	575,506,516	95.3	554,883,805	95.1	20,622,711	3.7
使用料及び手数料	27,996,600	4.6	28,260,560	4.8	△ 263,960	△ 0.9
国庫支出金	0	-	0	-	0	-
県支出金	0	-	0	-	0	-
財産収入	94,364	0.0	105,204	0.0	△ 10,840	△ 10.3
寄附金	0	-	0	-	0	-
繰入金	0	-	0	-	0	-
繰越金	0	-	0	-	0	-
諸収入	266,050	0.1	415,527	0.1	△ 149,477	△ 36.0
組合債	0	-	0	-	0	-
合 計	603,863,530	100.0	583,665,096	100.0	20,198,434	3.5

第1款 分担金及び負担金

予 算 現 額	575,934,000 円
調 定 額	575,506,516 円
収 入 済 額	575,506,516 円

収入済額の予算現額に対する比率は 99.9%で、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表2

(単位：円・%)

項 別	令和元年度	平成30年度	比 較 増 減	
			金 額	率
分 担 金	520,846,000	500,127,000	20,719,000	4.1
負 担 金	54,660,516	54,756,805	△ 96,289	△ 0.2
合 計	575,506,516	554,883,805	20,622,711	3.7

1 分担金

前年度に比べ 20,719,000 円 (4.1%) 増加している。これは、清掃分担金 (ごみ処理施設) 12,460,000 円及び清掃分担金 (最終処分場) 3,961,000 円等の増加によるものである。

2 負担金

前年度に比べ 96,289 円 (0.2%) 減少している。これは、下水道汚泥処理負担金の減少によるものである。

第2款 使用料及び手数料

予 算 現 額	28,901,000 円
調 定 額	27,996,600 円
収 入 済 額	27,996,600 円

収入済額の予算現額に対する比率は 96.9%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表3

(単位：円・%)

項 別	令和元年度	平成30年度	比 較 増 減	
			金 額	率
使 用 料	27,996,600	28,260,560	△ 263,960	△ 0.9
手 数 料	0	0	0	-
合 計	27,996,600	28,260,560	△ 263,960	△ 0.9

1 使用料

前年度に比べ 263,960 円 (0.9%) 減少している。これは、保健衛生使用料 (斎場使用料) の減少によるものである。

2 手数料

手数料収入はない。

第3款 国庫支出金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に国庫支出金の収入はない。

第4款 県支出金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に県支出金の収入はない。

第5款 財産収入

予 算 現 額	68,000 円
調 定 額	94,364 円
収 入 済 額	94,364 円

収入済額の予算現額に対する比率は 138.8%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表4

(単位：円・%)

項 別	令和元年度	平成30年度	比 較 増 減	
			金 額	率
財産運用収入	94,364	105,204	△ 10,840	△ 10.3
財産売払収入	0	0	0	-
合 計	94,364	105,204	△ 10,840	△ 10.3

1 財産運用収入

前年度に比べ 10,840 円 (10.3%) 減少している。これは、利子及び配当金の減少によるものである。

2 財産売払収入

財産売払収入はない。

第6款 寄附金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に寄附金の収入はない。

第7款 繰入金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に繰入金の収入はない。

第8款 繰越金

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に繰越金の収入はない。

第9款 諸収入

予 算 現 額	91,000 円
調 定 額	266,050 円
収 入 済 額	266,050 円

収入済額の予算現額に対する比率は 292.4%、調定額に対する比率は 100.0%である。

収入済額を項別にみると、次のとおりである。

表5

(単位：円・%)

項 別	令和元年度	平成30年度	比 較 増 減	
			金 額	率
預 金 利 子	49	75	△ 26	△ 34.7
雑 入	266,001	415,452	△ 149,451	△ 36.0
合 計	266,050	415,527	△ 149,477	△ 36.0

1 預金利子

前年度に比べ 26 円 (34.7%) 減少している。これは、預金利子の減少によるものである。

2 雑入

前年度に比べ 149,451 円 (36.0%) 減少している。これは、現場事務所使用光熱水費 20,547 円、自動販売機電気料 4,830 円の増加はあるものの、自動車損害共済金 32,400 円の皆減、鉄骨廃材処分費 134,310 円等の減少によるものである。

第10款 組合債

予 算 現 額	1,000 円
調 定 額	0 円
収 入 済 額	0 円

当年度も、前年度と同様に組合債の収入はない。

2 歳出

歳出の決算額は、

予 算 現 額	605,000,000 円
支 出 済 額	590,545,364 円
翌年度繰越額	0 円
不 用 額	14,454,636 円

となっている。

予算執行率は 97.6%（前年度 97.8%）である。

支出済額を款別にみると、次のとおりである。

表6

(単位：円・%)

款 別	令和元年度		平成30年度		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
議 会 費	656,074	0.1	785,799	0.2	△ 129,725	△ 16.5
総 務 費	33,767,713	5.7	33,609,638	5.9	158,075	0.5
衛 生 費	439,018,352	74.4	404,549,686	70.9	34,468,666	8.5
公 債 費	117,103,225	19.8	131,359,183	23.0	△ 14,255,958	△ 10.9
予 備 費	0	-	0	-	0	-
合 計	590,545,364	100.0	570,304,306	100.0	20,241,058	3.5

第1款 議会費

予 算 現 額	1,102,000 円
支 出 済 額	656,074 円
不 用 額	445,926 円

予算執行率は、59.5%（前年度 71.2%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表7

(単位：円・%)

項 別	令和元年度	平成30年度	比較増減	
			金額	率
議 会 費	656,074	785,799	△ 129,725	△ 16.5

前年度に比べ 129,725 円（16.5%）減少している。これは、需用費 17,866 円の増加はあるものの、報酬 83,200 円及び旅費 46,265 円等の減少によるものである。

不用額 445,926 円は、執行残によるものである。

第2款 総務費

予 算 現 額	35,880,000 円
支 出 済 額	33,767,713 円
不 用 額	2,112,287 円

予算執行率は、94.1%（前年度96.6%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表8

（単位：円・%）

項 別	令和元年度	平成30年度	比 較 増 減	
			金 額	率
総 務 管 理 費	33,609,538	33,448,934	160,604	0.5
選 挙 費	104,103	106,841	△ 2,738	△ 2.6
監 査 委 員 費	54,072	53,863	209	0.4
合 計	33,767,713	33,609,638	158,075	0.5

1 総務管理費

前年度に比べ160,604円（0.5%）増加している。これは、職員手当等348,985円、需用費142,200円等の減少はあるものの、負担金、補助及び交付金454,865円、使用料及び賃借料210,072円等の増加によるものである。

2 選挙費

前年度に比べ2,738円（2.6%）減少している。

3 監査委員費

前年度に比べ209円（0.4%）増加している。

不用額2,112,287円は、主に総務管理費2,044,462円で、執行残によるものである。

第3款 衛生費

予 算 現 額	449,497,000 円
支 出 済 額	439,018,352 円
不 用 額	10,478,648 円

予算執行率は、97.7%（前年度97.6%）である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表9

(単位：円・%)

項 別	令和元年度	平成30年度	比 較 増 減	
			金 額	率
保 健 衛 生 費	73,367,201	53,390,891	19,976,310	37.4
清 掃 費	365,651,151	351,158,795	14,492,356	4.1
合 計	439,018,352	404,549,686	34,468,666	8.5

1 保健衛生費

前年度に比べ 19,976,310 円 (37.4%) 増加している。これは、賃金 758,726 円の皆減、需用費 255,001 円等の減少はあるものの、給料 900,960 円の皆増、積立金 19,000,000 円等の増加によるものである。

2 清掃費

前年度に比べ 14,492,356 円 (4.1%) 増加している。これは、最終処分場費の負担金、補助及び交付金 1,645,421 円等の減少はあるものの、最終処分場費の委託料 3,267,000 円の皆増、ごみ処理施設費の委託料 3,352,009 円、工事請負費 7,590,780 円等の増加によるものである。

不用額 10,478,648 円は、保健衛生費 955,799 円及び清掃費 9,522,849 円で、執行残によるものである。

第4款 公債費

予 算 現 額	117,521,000 円
支 出 済 額	117,103,225 円
不 用 額	417,775 円

予算執行率は、99.6% (前年度 99.9%) である。

支出済額を項別にみると、次のとおりである。

表10

(単位：円・%)

項 別	令和元年度	平成30年度	比 較 増 減	
			金 額	率
公 債 費	117,103,225	131,359,183	△ 14,255,958	△ 10.9

前年度に比べ 14,255,958 円 (10.9%) 減少している。これは、主に平成 15 年度に借り入れた組合債 (斎場施設) の償還が平成 30 年度で終了したことによる元金 13,395,348 円及び利子 860,610 円の減少によるものである。

当年度における借入金 (元金) の状況は、次のとおりである。

表11

(単位：千円)

区 分	平成30年度 末現在高	令和元年度 発行額	令和元年度 償還額	差引現在高
ごみ処理施設	345,215	0	77,367	267,848
斎場施設	42,616	0	38,176	4,440
合 計	387,831	0	115,543	272,288

第5款 予備費

予 算 額	1,000,000 円
充 用 額	0 円
予 算 現 額	1,000,000 円
不 用 額	1,000,000 円

第6 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書の計数は、正確であると認められ、その額は 13,319 千円で前年度に比べ 42 千円減少している。

第7 財産に関する調書

1 公有財産

公有財産の当年度末現在高は、土地 27,438 m²、建物 6,101 m²で前年度と変動はない。

2 物 品

物品の当年度末の現在高は、貨物自動車は 2 台であり、前年度と変動はない。

3 基 金

基金の状況は、次のとおりである。

表12

(単位：千円)

区 分	前年度末現在高	当年度中増減高	当年度末現在高
財 政 調 整 基 金	29,875	2,605	32,480
一般廃棄物最終処分場 施設整備基金	16,901	1,568	18,469
火葬場施設整備基金	33,336	23,174	56,510
ごみ処理施設整備基金	313,088	7,014	320,102
合 計	393,200	34,361	427,561

む す び

当年度の決算額は、歳入総額 6 億 386 万円、歳出総額 5 億 9,055 万円で、前年度に比べ歳入で 2,020 万円 (3.5%)、歳出では 2,025 万円 (3.5%) それぞれ増加している。その結果、実質収支額は 1,332 万円となっている。

各施設の管理運営状況をみると、まず、東郷霊苑については、当年度の使用状況が 1,202 件で、前年度より 38 件 (3.1%) の減となっており、内訳は火葬件数が 18 件、待合室の使用件数は 20 件の減少となっている。

また、施設の維持管理については、「第 2 次日向地区斎場東郷霊苑管理運営中期計画 (計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度)」に基づいて、1 号炉～5 号炉の主燃焼室等炉内耐火物補修工事及び二次冷却ファン取替工事が行われている。

次に、清掃センターについては、ごみの焼却量が 23,559 トンとなり、前年度より 153 トンの増となっている。なお、一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画 (当初計画：平成 22 年度～令和 6 年度) については、前回の改定 (平成 27 年 3 月) に引き続き、2 回目の中間見直し (計画期間：令和 2 年度～令和 6 年度) が行われ、1 人 1 日当たりごみ排出量を 921 g / 人・日 (平成 30 年度実績) から令和 6 年度には 856 g / 人・日まで削減することが目標値として設定されている。

また、施設の設備機器類については、長寿命化計画書 (長期施設整備計画) に基づいて 2 号炉ガス冷却室更新工事等の維持補修工事等が実施され、それぞれの機能回復とともに、焼却処理により発生する排ガス等については、各汚染物質の分析検査結果が基準値内の適正な数値を保持しており、周辺環境の保全に沿った管理運営がなされている。

以上のとおり、各施設の管理運営については、おおむね適正に執行され、効率的な共同処理が行われている。

そうした中、清掃センターの設備機器類については、近い将来において、長寿命化計画を再び策定し、大規模な基幹的設備改良工事を実施することにより延命化を図るなど、多額の財政負担を抱える事業も予想されるため、これに対しての財源確保の取組を進めることが求められる。

今後とも、広域計画等に基づきながら、事務事業の効率化と安全で安定した施設の管理・運営と短期・中期・長期的展望を見据えた経営に努められることを望むものである。

令和元年度

決算審査資料

資料1 人口の推移

区 分	令和2年3月末日現在		平成31年3月末日現在		平成30年3月末日現在	
	人口 (人)	前年比 (%)	人口 (人)	前年比 (%)	人口 (人)	前年比 (%)
日 向 市	59,632	△ 0.7	60,044	△ 1.0	60,625	△ 0.9
門 川 町	17,433	△ 0.5	17,524	△ 1.1	17,713	△ 1.0
美 郷 町	4,704	△ 4.2	4,909	△ 3.3	5,076	△ 3.0
諸 塚 村	1,466	△ 3.6	1,520	△ 4.3	1,588	△ 3.5
椎 葉 村	2,504	△ 2.2	2,560	△ 1.8	2,608	△ 2.3
合 計	85,739	△ 0.9	86,557	△ 1.2	87,610	△ 1.1

資料2 ごみ焼却量の推移

区 分	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	量 (t)	前年比 (%)	量 (t)	前年比 (%)	量 (t)	前年比 (%)
日 向 市	16,890	0.5	16,807	5.4	15,939	△ 0.5
門 川 町	5,206	0.1	5,201	0.5	5,173	1.0
美 郷 町	898	6.4	844	4.6	807	1.1
諸 塚 村	191	3.2	185	△ 1.1	187	△ 11.4
椎 葉 村	374	1.4	369	4.2	354	△ 1.7
合 計	23,559	0.7	23,406	4.2	22,460	△ 0.2

資料3 日向地区斎場東郷霊苑使用件数の推移

区 分	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	件	前年比 (%)	件	前年比 (%)	件	前年比 (%)
日 向 市	761 (22)	1.7	748 (42)	△ 7.9	812 (43)	10.6
門 川 町	214 (1)	△ 15.4	253 (5)	△ 2.7	260 (3)	5.3
美 郷 町	124 (8)	△ 13.9	144 (10)	△ 10.0	160 (9)	8.8
諸 塚 村	33 (2)	△ 8.3	36	2.9	35 (2)	12.9
椎 葉 村	39 (2)	25.8	31	△ 13.9	36	71.4
そ の 他	31 (2)	10.7	28	△ 3.4	29	△ 9.4
合 計	1,202 (37)	△ 3.1	1,240 (57)	△ 6.9	1,332 (57)	9.9

※ 使用件数のうち待合室等の使用件数は、括弧書きで再掲している。

資料4 焼却量等の推移

区 分	単位	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
		量	前年比 (%)	量	前年比 (%)	量	前年比 (%)
ごみ焼却量	t	23,559	0.7	23,406	4.2	22,460	△ 0.2
電力使用量	kwh	1,733,224	△ 0.2	1,737,223	2.9	1,688,574	1.3
A重油使用量	kℓ	15.0	50.0	10.0	△ 33.3	15.0	23.0
灰搬出量	t	2,421	△ 0.6	2,436	6.3	2,291	△ 4.3

資料5 ダイオキシン類等測定分析結果の推移(清掃センター)

測定項目	単位	基準値	令和元年度		平成30年度		平成29年度		
			1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	
ダイオキシン類	排ガス	ng-TEQ/m ³ N	5	0.036	0.046	0.026	0.070	0.016	0.051
	飛灰	ng-TEQ/g	3	0.170	0.110	0.200	0.170	0.086	0.086
	焼却灰	ng-TEQ/g	3	0.00057	0.00037	0.00023	0.00049	0.00025	0.0014
一酸化炭素	ppm	100	2	2	2	2	3	3	
ばいじん	g/m ³ N	0.15	0.005未満	0.005未満	0.004未満	0.005未満	0.004	0.005未満	
塩化水素	mg/m ³ N	700	190	49	120	150	150	130	
硫黄酸化物	m ³ N/h	50~60	1.00	0.81	0.72	0.69	0.68	0.52	

※ ダイオキシン類の数値は毒性等量

資料6 ダイオキシン類等測定分析結果の推移(日向地区斎場東郷霊苑)

測定項目	単位	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ダイオキシン類(排ガス)	ng-TEQ/m ³ N	3.60	0.58	6.30
一酸化炭素	ppm	21.00	7.00	5.00
ばいじん	g/m ³ N	0.005未満	0.005未満	0.005未満
塩化水素	mg/m ³ N	5.00	5.00	5.00
硫黄酸化物	m ³ N/h	0.019	0.072	0.027

※ ダイオキシン類の数値は毒性等量

資料7の① 事業別分担金の内訳

(単位：千円・%)

区分	一般管理	斎場施設	斎場施設	最終処分場	ごみ処理施設	ごみ処理施設	合計	構成比
	分担金	運営管理費	建設費	建設費	運営管理費	建設費		
日向市	18,312	11,612	37,453	-	169,934	54,983	292,294	56.1
門川町	8,617	4,522	12,961	9,454	64,758	20,067	120,379	23.1
美郷町	4,251	2,979	5,383	3,194	22,405	6,416	44,628	8.6
諸塚村	3,273	1,339	3,426	1,577	16,479	4,345	30,439	5.8
椎葉村	3,418	1,320	3,349	2,067	18,046	4,906	33,106	6.4
合計	37,871	21,772	62,572	16,292	291,622	90,717	520,846	100.0

資料7の② 事業別分担金の繰越額内訳

(単位：円・%)

区分	一般管理	斎場施設	斎場施設	最終処分場	ごみ処理施設	ごみ処理施設	合計	構成比
	分担金	運営管理費	建設費	建設費	運営管理費	建設費		
日向市	1,630,966	19,206	254,896	-	3,067,670	334,847	5,307,585	39.9
門川町	897,128	7,525	88,827	2,002,120	1,168,447	122,247	4,286,294	32.2
美郷町	414,608	5,383	36,531	676,348	403,923	39,677	1,576,470	11.8
諸塚村	312,473	2,545	23,681	334,030	297,635	26,847	997,211	7.5
椎葉村	330,088	2,807	22,866	438,322	326,090	30,433	1,150,606	8.6
合計	3,585,263	37,466	426,801	3,450,820	5,263,765	554,051	13,318,166	100.0